

**庄内地域における  
地域・職域がん検診受診者数  
把握調査報告**

**平成24年3月  
山形県庄内保健所  
【がん検診受診向上研究事業】**



## はじめに

庄内地域では庄内保健所が事務局となり、平成21年度に関係機関からなる「がん検診受診向上研究会」を設立しました。そして、主な取り組みとして平成22年度に庄内町をモデル町とした「働く人のがん検診受診向上モデル事業」を展開いたしました。モデル事業に係る効果については、平成23年9月に「がん検診受診向上モデル事業効果検証報告」及び平成24年1月に「がん検診受診向上モデル事業フォロー調査報告」を公表しており、管内の地域・職域におけるがん検診の受診向上の波及を目指しているところです。

さて、当地域には、がん死亡率が高いという地域課題があるにもかかわらず、がん検診を受診している人の総数の把握が難しい状況にあります。これは、地域検診の受診者は確認できるものの、職域検診と自己負担による任意型検診の受診者数を把握する仕組みが確立していないためです。

また、わが国においては平成19年に「がん対策推進基本計画」を閣議決定し、がん検診の受診率目標を50%と設定したものの、正確な受診率の算定方法には課題がある現状にあります。山形県においても平成20年に「山形県がん対策推進計画」を策定し、胃がん、大腸がん、及び乳がんの受診率目標を60%と設定しましたが、国と同様、その算定方法は不透明な状況にあります。

利用価値が高いにもかかわらず、受診率の捉え方が曖昧である現状においては、算定方法には多角的な検討がなされるべきであると考えます。そこで当保健所では、がん検診受診向上研究事業として、がん検診受診者数の把握についての検討及び調査の試行を重ねてまいりました。

このたび、関係機関の協力を得て調査を実施し、地域検診と職域検診、自己負担による任意型検診の受診者数を把握し、結果を取りまとめました。本報告は、少なく見積もれば、当地域が成し得た一つの提案に留まるものではありませんが、それでもなお、既に公表した報告同様に、関係機関あるいは管外の自治体等にとって有益なものとなれば幸甚と考えております。

最後になりましたが、本調査の実施に御理解、御協力を賜りました「がん検診受診向上研究会」の委員の皆様、及び調査に御協力賜りました関係者の皆様に深く感謝申し上げます。

平成24年3月

山形県庄内保健所

所長 松田 徹

# 目 次

第1章	がん検診受診者数の把握の現状	1
1.1.	受診者数・受診率の把握方法	2
1.2.	山形県の把握状況	3
第2章	調査方法	5
2.1.	調査の概要	6
2.2.	回答票	7
第3章	調査結果	11
3.1.	調査結果の概要	12
3.2.	検診実施主体等への調査による把握	15
3.3.	市町の意向調査書による把握	16
第4章	考察	17
4.1.	調査結果の考察	18
4.2.	課題	22